

## GPS 安全性要約書 (GPS Safety Summary)

この GPS 安全性要約書は、化学産業界のグローバル製品戦略 (Global Product Strategy) に基づいて、DIC 株式会社が製造する本化学物質のリスク評価結果の概要を、製造者としての社会的責任の一環として広く一般社会へ公開するものです。環境やヒトの健康への影響に関する詳細かつ専門的な情報を提供することを目的とはしておりません。また安全データシート (SDS) の代用となるものでもありません。

この GPS 安全性要約書は、信頼に足ると考えられる情報、データ、資料や現時点での法令に基づいて作成したものです。記載内容に関していかなる保証もするものではありません。

なお、DIC 株式会社はこの GPS 安全性要約書に記載した以外の本化学物質の使用は想定しておりません。そのような使用がある場合には、ご使用者の責任においてリスク評価を実施され、その概要を公表されることを推奨いたします。

### 物質名 (Substance Name)

4-tert-ブチルフェノール (4-tert-butylphenol, CAS RN 98-54-4)

### 物質の概要 (General Statement)

4-tert-ブチルフェノールはフェノール性の特異臭を持つ結晶性の白色固体で、水への溶解性は低い。融点や沸点は高いが昇華性がある。

本物質の蒸気を吸入すると、呼吸刺激、眠気やめまいを起こすおそれがある。本物質が皮膚に接触すると刺激があり、アレルギー性皮膚反応を起こすおそれもある。本物質が眼に接触すると強い刺激があり、発赤や痛みを生じる。

本物質は、カーボネート樹脂をはじめ、エポキシ樹脂、フェノール樹脂など各種工業用樹脂のモノマー原料として広く使われている。また、香料原体などの他物質の合成原料としても用いられる。それらの用途においては、本物質は工程中に反応してすべて消失すると考えられている。そのため、DIC 株式会社は消費者が本物質にばく露されることを想定していない。

本物質の使用者においては、従事する従業員等が本物質にばく露されるリスクを最小化する必要がある。粉塵や蒸気の吸入、皮膚や眼への接触による健康影響を最小化するため、適切な保護マスク、保護手袋、保護メガネ、保護衣、保護靴の着用が推奨される。また、排気設備には集塵機能を付与するなどの漏洩防止策を施し、監視システムや定期的な設備点検で漏洩等による環境への悪影響を最小化することが推奨される。

### 化学的特性 (Chemical Identity)

項目	内容
一般名	PTBP, p-tert-ブチルフェノール
商品名	PTBP, DIC-PTBP
化学名	4-tert-ブチルフェノール

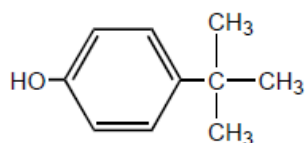
GSS 60101A00000

CAS 番号/EC 番号 98-54-4/202-679-0

官報公示整理番号 化審法：(3)-503, 安衛法：整理番号なし

分子式 C<sub>10</sub>H<sub>14</sub>O

構造式



### 使用・用途と適用 (Uses and Applications)

想定する用途 カーボネート樹脂、エポキシ樹脂、フェノール樹脂等合成樹脂類のモノマー原料  
香料原体等の化合物の合成原料

### 物理化学的特性 (Physicochemical Properties)

外観	固体
色	白色
臭気	フェノール性特異臭
密度	0.9kg/L (120°C)
融点/沸点	99.2°C/238.3°C
可燃性/引火性	GHS 区分の引火性固体に該当しない
引火点	113°C (クリーブランド開放式)
爆発限界	上限：8.6vol%, 下限：1.8vol%
蒸気圧	0.5Pa (20°C)
分子量	150.2176
水溶解性	610mg/L (25°C)
分配係数	3 (オクタノール-水分配係数, Log Kow, 23°C)

### ヒト健康影響 (Health Effects)

眼に対する重篤な損傷性がある。ヒトに対する生殖/発生毒性が疑われる。皮膚刺激がある。単回ばく露による呼吸器への刺激の恐れがある。

影響評価	結果 (GHS 危険有害性分類)
急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入) (ガス)	分類対象外
急性毒性 (吸入) (蒸気)	分類対象外
急性毒性 (吸入) (粉塵、ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない

生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器（反復ばく露）	分類できない
吸引力呼吸器有害性	分類できない
注 GHS	Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals
区分外	世界的に調和されたルールに基づいて化学品を危険有害性により分類する
分類対象外	GHS 規定中最低の危険有害性区分よりさらに低い危険有害性と考えられる
分類できない	GHS の「分類」定義に該当しない 信頼しうるデータがないかデータ不足のため、分類することができない

## 環境影響（Environmental Effects）

本物質は安定した固体であり、容易に生分解可能な化学物質(OECD TG 301)として分類されている。

### 影響評価 結果（GHS 危険有害分類）

水生環境有害性（急性）	区分 2
水生環境有害性（慢性）	区分 2
オゾン層有害性	分類できない

### 環境運命・動態 結果

環境中の移行性	主に水系に移行すると考えられる。
生分解性	生分解しやすい。
生物蓄積性	中程度の生物蓄積性がある（生物濃縮係数 34-120）。
PBT/vPvB 判定	PBT、vPvB に該当しない
注 PBT	Persistent, bioaccumulative and toxic（環境中に残留し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する）
vPvB	very Persistent and very Bioaccumulative（環境中に非常に残留しやすく、非常に高い生物蓄積性を有する）

## ばく露（Exposure）

消費者ばく露は想定していない。作業員ばく露、環境ばく露が対象となる。

### 詳細 本物質の主な用途におけるばく露の可能性（ばく露経路）

作業員ばく露	主にサンプリング・充填・仕込みなどの移し変え作業時などに、限定的なばく露を受ける可能性がある（吸入、皮膚・眼との接触）。 但し、本物質は閉鎖系プロセスで製造されるため、作業員ばく露の可能性は極めて低い。 本物質を使用する場合も閉鎖系プロセスを想定しているため、作業員ばく露の可能性は極めて低い。
環境ばく露	主に製造時や使用時などに、主に水環境へ放出される可能性がある。 但し本物質は閉鎖系プロセスで製造されるため、環境への放出の可能性は極めて低い。本物質を使用する場合も閉鎖系プロセスを想定しているため、環境への放出の可能性は極めて低い。
特記事項	DIC 株式会社は上記以外のばく露形態を想定していない。使用時に上記以外の形態

でばく露がある場合には、相応のリスク評価を行い適切なリスク管理措置を講じて周知・実行されることを推奨する。

### 推奨するリスク管理措置 (Risk Management Recommendations)

吸入や皮膚・眼への接触による健康への影響を最小化するために、サンプリング等ばく露の可能性がある作業時は、吸入経路や経皮経路でのばく露を防止する必要がある。そのためには、適切な保護マスク（必要に応じて送気マスク）、ポリエチレン製等の本物質が浸透しない素材で作られた保護衣（必要に応じて頭部フード付き）、保護手袋、保護メガネ、保護靴の着用が推奨される。

また、環境生物への影響を最小化するために漏洩防止策を講じるとともに、漏洩防止設備の監視や定期的な保守点検による保全を行うことが推奨される。

消費者が本物質を使用することは想定していない（推奨しない）。本物質を含有する商品を消費者が使用する場合には、商品の販売者が発行する取扱説明書等を参照されたい。

#### 詳細 当社リスク評価結果に基づいて推奨される管理措置

**作業者** サンプリング作業など、本物質からばく露を受ける作業を行う際は、適切な保護マスク、ポリエチレン製等の本物質が浸透しない素材で作られた保護衣、保護手袋、保護メガネ、保護靴を着用する。必要に応じて送気マスクや頭部フード付きの保護衣を用いる。

屋外または換気のよい場所でのみ使用し、密閉容器で施錠し保管する。

作業責任者は、適切な保護具の選択や使用方法を定め、作業者の教育を行う。

#### 《ばく露時の措置》

皮膚に付着した場合は多量の水と石けんで洗い、皮膚刺激が生じた場合は医師の診断・手当てを受ける。

眼に入った場合は水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。直ちに医師に連絡して指示を仰ぐ。

吸入した場合は空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。

汚染された衣類や保護具は、棄却するか、再使用前に洗濯・洗浄する。

**環境** 適切な排気・排水設備を設置し、環境への漏洩を最小化する。漏洩防止設備の監視や定期的な保守点検による保全を行う。

#### 《漏出時の措置》

漏出物を回収し、環境、特に水系への漏出を防ぐ。

**消費者** ばく露を想定していない。本物質を含有する商品を消費者が使用する場合には、商品の販売者が発行する取扱説明書等に従う。

**注意事項** 取り扱う場所においては、高温、着火源となるものが置かれなようにする。

### 政府機関のレビュー状況 (State Agency Review)

評価書 レビュー状況

OECD SIDS <http://www.jetoc.or.jp/safe/doc/J98-54-4.pdf> (プロファイリング, 日本語)

<http://www.chem.unep.ch/irptc/sids/OECD/SIDS/98544.pdf> (英語)

REACH Chemical Safety Report (非公開)

**法規制情報／ラベル情報 (Regulatory Information / Labeling Information)**

## 主な法規制情報

消防法	法第9条の4・危険物規制令別表第4 指定可燃物 可燃性固体類
大気汚染防止法	揮発性有機化合物 法第2条第4項 (平成14年度 VOC 排出に関する調査報告)
海洋汚染防止法	海洋汚染物質
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談が望ましい。
船舶安全法	有害性物質 (危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	その他の有害性物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
化学物質排出把握管理促進法 (通称 PRTR 法)	第1種指定化学物質 (法第2条第2項, 施行規則第1条別表第1) 4-ターシャリ-ブチルフェノール (政令番号 368) : 100%
労働基準法	疾病化学物質 (法第75条第2項, 施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53 労告36号) パラ-tert-ブチルフェノール 感作性を有するもの (法第75条第2項, 施行規則第35条別表第1の2第4号, 平8 労基局長通達, 基発第182号) パラ-tert-ブチルフェノール
国連分類	クラス9 その他の危険物及び物品
国連番号	3077 環境有害物質 (固体) (他に品名が明示されているものを除く)
容器等級	III

## ラベル情報

絵表示



注意喚起語

危険・警告

危険有害性情報

皮膚刺激, 眼刺激, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ, 呼吸器への刺激のおそれ, 水生生物に毒性, 長期的影響により水生生物に毒性

**連絡先(Contact Information within Company)**

会社名	DIC 株式会社
住所	東京都中央区日本橋 3-7-20 ディーアイシービル
担当部署①	レスポンシブルケア部
電話/FAX 番号	03-6733-2172/03-6733-3275
担当部署②	ポリマ製品本部
電話/FAX 番号	03-6733-6162/03-6733-6195

**発行・改定日 (Date of Issue / Revision)    その他の情報 (Additional Information)**

初版                      2016年12月27日発行